

CADdoctor for NX

インストールガイド

株式会社 エリジオン

本マニュアルの使用権について

本マニュアルは、ユーザーに対して無期限にライセンス供与するものですが、所有権は常に株式会社エリジオン（以下エリジオンと称す）のもとにあります。本マニュアルの内容は機密情報と考えられており、これを公開しないことに同意した正規ユーザーの雇用主の代理人以外の人に公開してはなりません。本マニュアル及びこの中で参照するコンピュータプログラムを使うユーザーは、ユーザー側の設備、機械、システム及び製品の機械的設計を全面的に管理し、これにすべての責任を負うものとし、エリジオンはユーザーが本マニュアルに基づいて設計した、または本マニュアルを使用して設計したあらゆる設備、機械、システム、及び製品が商用または特殊目的に適合するか、しないかについての保証を含む一切の保証を行わないものとし、

本書のいかなる部分もエリジオンの書面による承認なしに、写真撮影及びレコーディングを含むいかなる形式またはいかなる電子的・機械的手段によっても、また情報の記憶または再現システムによっても複製または配布してはなりません。

NX は Siemens 社の登録商標です。

CADdoctor は Elysium の登録商標です。

他のすべての商標、または登録商標は、それぞれの所有者に属するものとし、

株式会社 エリジオン

〒430-0927 静岡県浜松市中区旭町 11-1 プレスタワー 10F

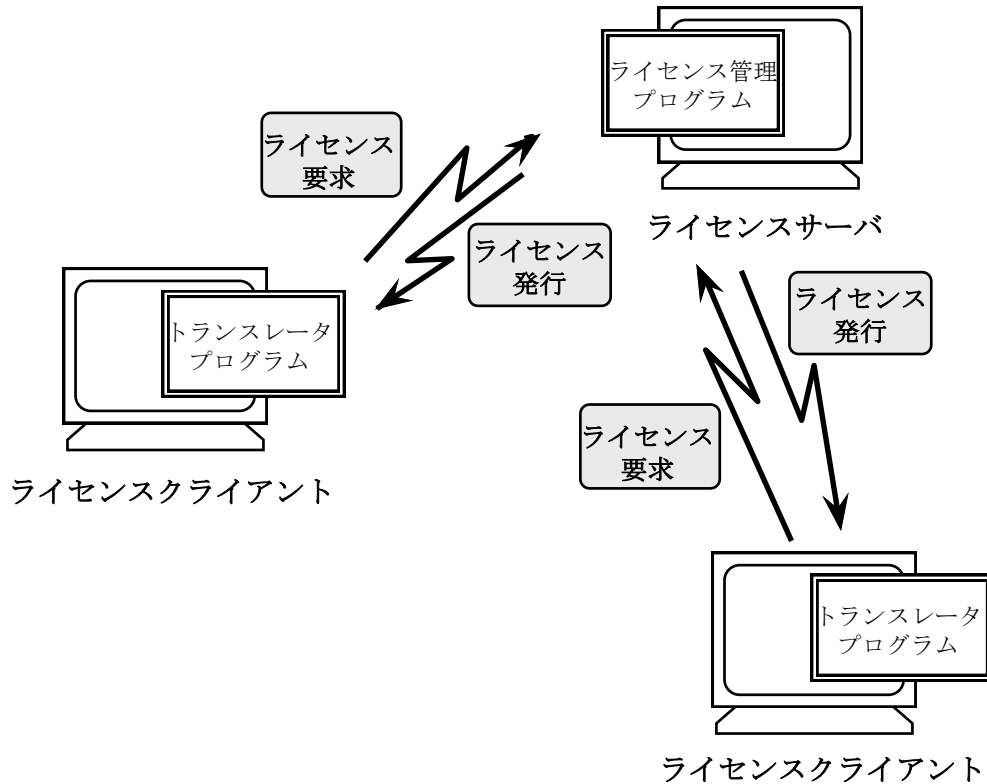
TEL 053(413)1000 FAX 053(413)1010

目 次

1	ライセンス管理プログラムのインストール	3
2	CADdoctor for NX のインストール	4
2.1	インストレーションプログラムによるインストール	4
2.1.1	インストールの前に	4
2.1.2	インストール	4
2.1.3	インストールが終わったら	14
2.2	コピーインストール	15
2.2.1	インストール済みマシンと同じパスにインストールする場合	15
2.2.2	インストール済みマシンとは異なるパスにインストールする場合	16
3	テンプレート機能	18
3.1	NX へのテンプレートの登録方法例 (非 Teamcenter 環境)	19
3.2	テンプレートの指定方法 (非 Teamcenter 環境)	22
3.3	NX へのテンプレートの登録方法例 (Teamcenter 環境)	23
3.4	テンプレートの指定方法 (Teamcenter 環境)	27
3.5	テンプレート機能に関する留意点	27
3.6	Part Revision の指定方法 (Teamcenter 環境)	28
3.7	Part (Item) Type の指定方法 (Teamcenter 環境)	28
4	カスタマイズ設定	29
4.1	単独線を修正する	29
4.2	DB_PART_NAME, DB_PART_NO を ENF に出力する	29

1 ライセンス管理プログラムのインストール

エリジオンライセンス管理プログラムは、サーバクライアント型のセキュリティープログラムです。



ライセンス管理プログラムは、ユーザのライセンス情報(ユーザー数、ライセンス有効期限など)を管理します。本トランスレータプログラムをご利用になる前に、このライセンス管理プログラムを起動しておく必要があります。トランスレータプログラムは起動時に、ライセンス管理プログラムと通信を行い、ユーザがトランスレータを使用するにあたって有効なライセンスを保有しているかどうかをチェックします。

トランスレータプログラムはライセンスプログラムとの通信のために、ライセンス管理プログラム導入マシン(ライセンスサーバ)の「ホスト名」、通信に使用する「ポート番号」を環境変数に指定します。ライセンス管理プログラムにエリジオンの発行するパスワードを設定することにより、トランスレータを使用することができるようになります。

(詳細は別冊『エリジオン ライセンス管理プログラム ユーザーズガイド』をご参照ください)

2 CADdoctor for NXのインストール

インストーションプログラムを用いてインストールする方法と、ファイルを手動でコピーしてインストールする方法があります。

2.1 インストーションプログラムによるインストール

インストーションプログラムを用いてインストールする場合には、以下の手順に従ってください。

2.1.1 インストールの前に

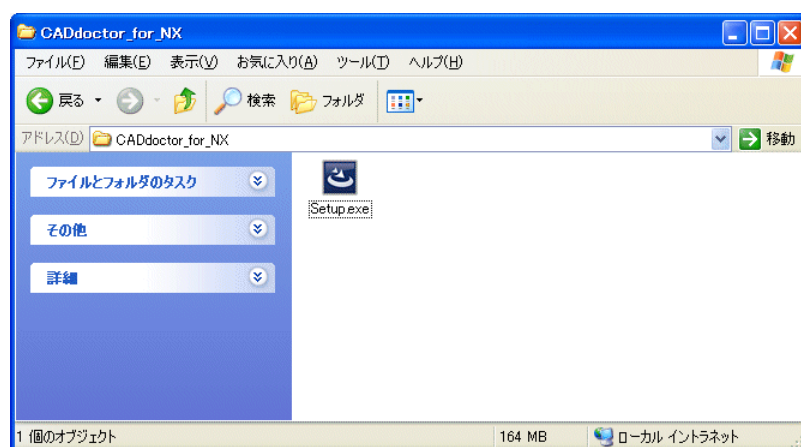
CADdoctor for NX を導入するマシンに NX がインストールされており、以下の環境変数が設定されていることをご確認ください。

UGII_BASE_DIR
UGII_ROOT_DIR
UGS_LICENSE_BUNDLE
SPLM_LICENSE_SERVER

また、NX の複数のバージョンがインストールされている環境では、正しくインストールできないことがあります。

2.1.2 インストール

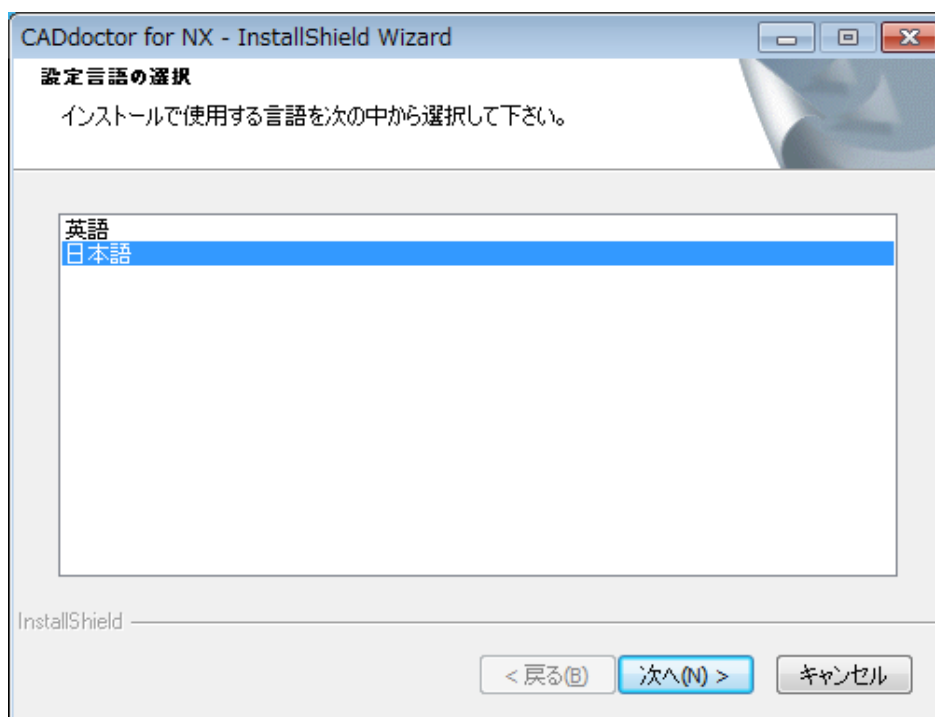
1. インストーションプログラムの起動



- CADdoctor for NX のパッケージにある[CADdoctor_for_NX¥setup.exe]を実行します。

【注意】 インストールは **Administrator** 権限のユーザで行って下さい。

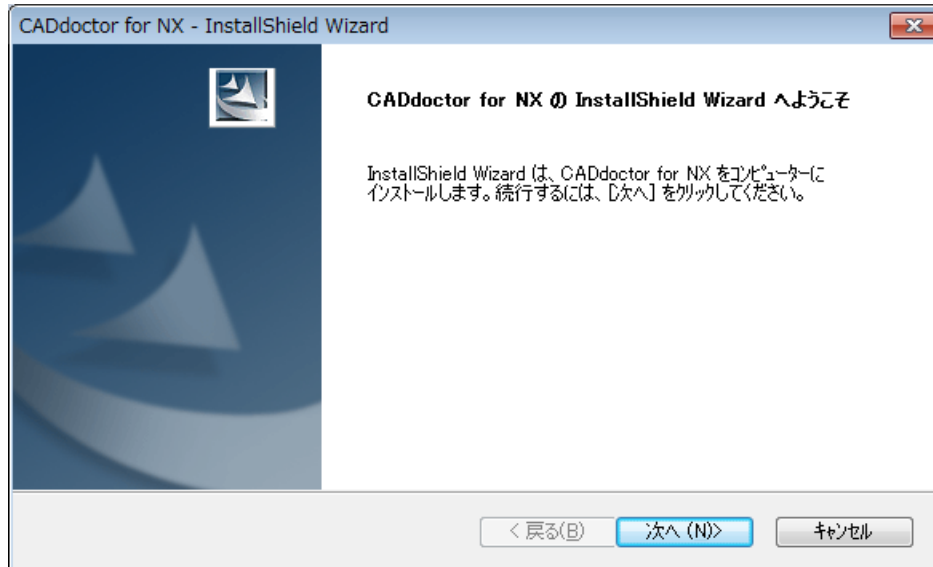
2. 設定言語の選択



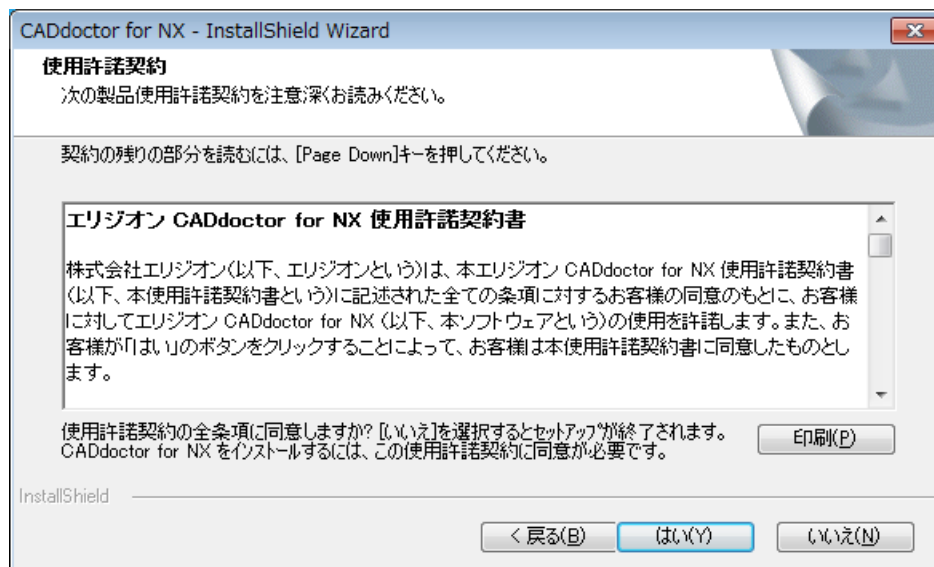
- 言語を指定して「次へ」を選択します。

※日本語版の NX をお使いの場合は「日本語」を、英語版の NX をお使いの場合は「英語」を選択してください。

3. CADdoctor for NX のセットアップ



- 「次へ」を選択します。



- 「はい」を選択します。

4. ユーザ情報の入力

The screenshot shows the 'CADdoctor for NX - InstallShield Wizard' window. The title bar is 'CADdoctor for NX - InstallShield Wizard'. The main window has a header 'ユーザー情報' (User Information) and a sub-header '情報を入力してください。' (Please enter the information). Below this, it says 'ユーザー名、および会社名を入力してください。' (Please enter the user name and company name). There are two input fields: 'ユーザー名(U):' (User Name) with the text 'USER' and '会社名(C):' (Company Name) with the text 'ELYSIUM'. At the bottom, there are three buttons: '< 戻る(B)' (Back), '次へ (N) >' (Next), and 'キャンセル' (Cancel). The 'InstallShield' logo is visible in the bottom left corner.

- ユーザ名、および会社名を入力後「次へ」を選択します。

5. インストール先の選択

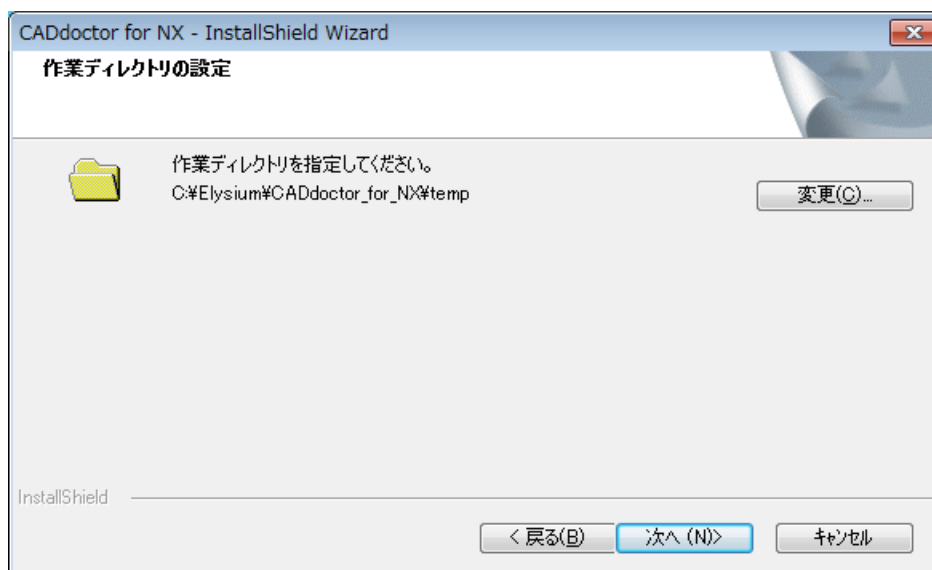
The screenshot shows the 'CADdoctor for NX - InstallShield Wizard' window. The title bar is 'CADdoctor for NX - InstallShield Wizard'. The main window has a header 'インストール先の選択' (Select Install Location) and a sub-header 'ファイルをインストールするフォルダを選択します。' (Select the folder to install the files). Below this, it says 'セットアップは、次のフォルダーに CADdoctor for NX をインストールします。' (Setup will install CADdoctor for NX in the following folder). It then says 'このフォルダーへのインストールは、[次へ]ボタンをクリックします。' (To install in this folder, click the [Next] button). It also says '別のフォルダーへインストールする場合は、[参照]ボタンをクリックしてフォルダーを選択してください。' (If you want to install in another folder, click the [Reference] button to select the folder). There is a text box labeled 'インストール先のフォルダー' (Install location folder) containing the text 'C:\Elysium\CADdoctor_for_NX'. To the right of the text box is a button labeled '参照(R)...' (Reference...). At the bottom, there are three buttons: '< 戻る(B)' (Back), '次へ (N) >' (Next), and 'キャンセル' (Cancel). The 'InstallShield' logo is visible in the bottom left corner.

- インストール先フォルダを指定し、「次へ」を選択します。

※日本語、半角カナ、空白、特殊文字が含まれないようにして下さい。

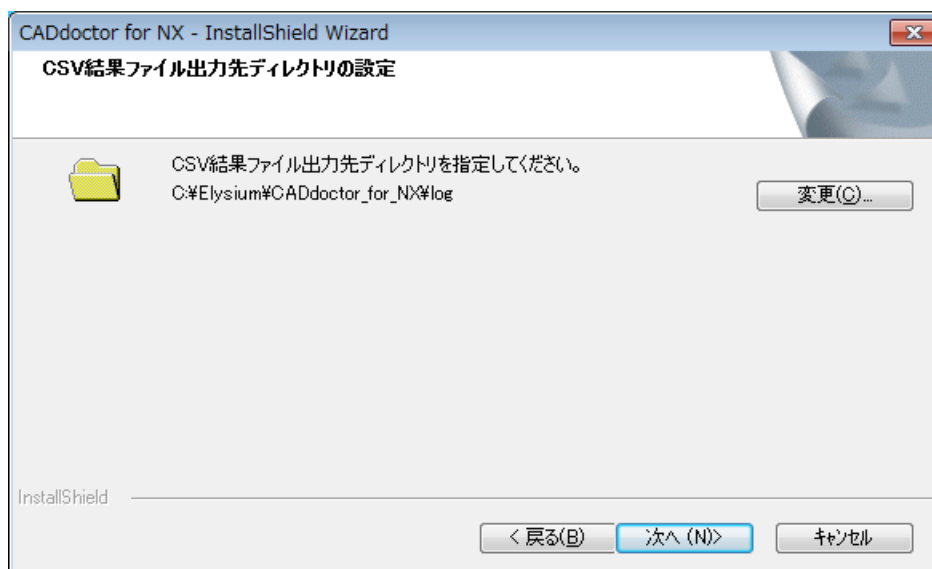
NX が起動しない場合があります。

6. 作業ディレクトリの設定



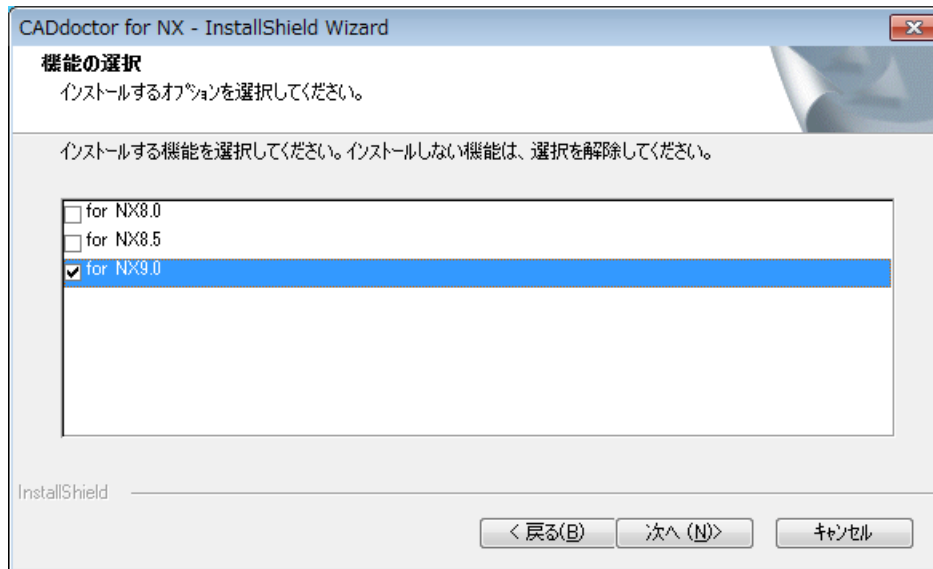
- 作業ディレクトリを指定して、「次へ」を選択します。

7. CSV 結果ファイル出力先ディレクトリの設定



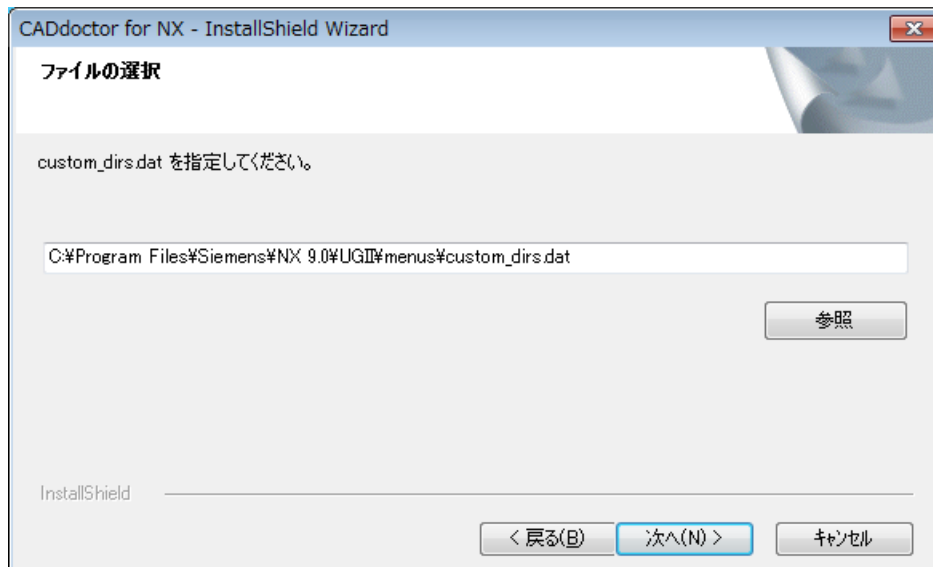
- CSV 結果ファイル出力先ディレクトリを指定して、「次へ」を選択します。

8. コンポーネントの選択



- インストールするコンポーネントを選択後、「次へ」を選択します。

9. 環境設定ファイルの指定



- 「参照」から環境設定ファイルを指定し、「次へ」を選択します。
 - ※ NX が導入されたデフォルトの環境には、
\$(UGII_ROOT_DIR)\menus\custom_dirs.dat に custom_dirs.dat が存在し、その
ファイルへのパスが表示されます。別の custom_dirs.dat を使用する場合には、「参
照」をクリックし、ファイルを指定します。

10. 環境設定ファイルの編集方法の選択

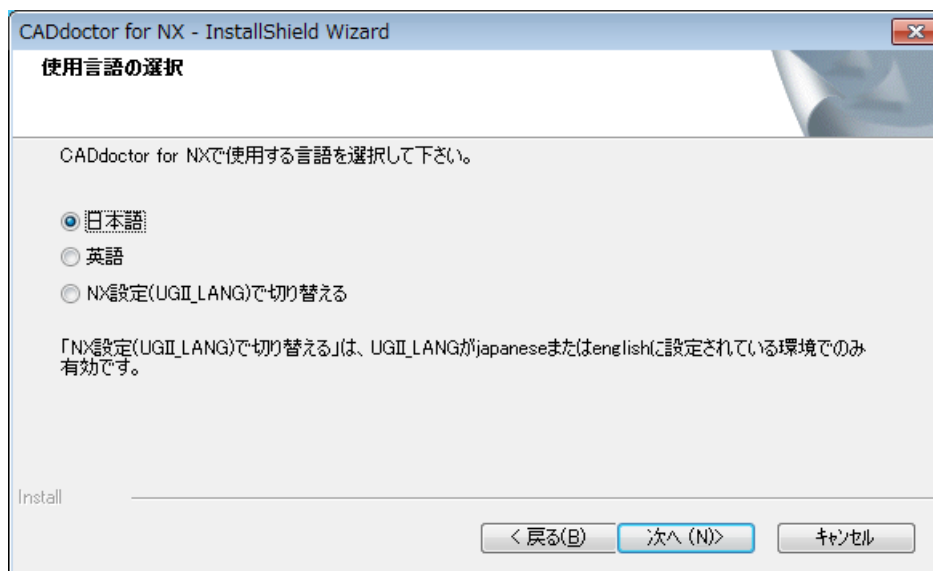


- 「このまま編集」または「コピーを作成」を選択後、「次へ」を選択します。
 - ※ 「このまま編集」を選択した場合、CADdoctor for NX の起動バッチを介さずに NX を起動しても CADdoctor for NX を実行することができます。
 - ※ 「コピーを作成」を選択した場合、指定した環境設定ファイルのコピーを作成するため、指定したファイル自体は変更されません。
(指定された環境設定ファイルのコピーに CADdoctor for NX の設定が追記されるので、CADdoctor for NX 起動時に NX のカスタマイズ内容を引き継ぐことができます)
 - ※ Teamcenter 環境の場合、⑨で Teamcenter から NX を起動した時に参照している custom_dirs.dat を指定した上で「既存の NX 環境と共存させる(このまま編集)」を選択してください。

[参考] 起動中の NX が参照している custom_dirs.dat の確認方法

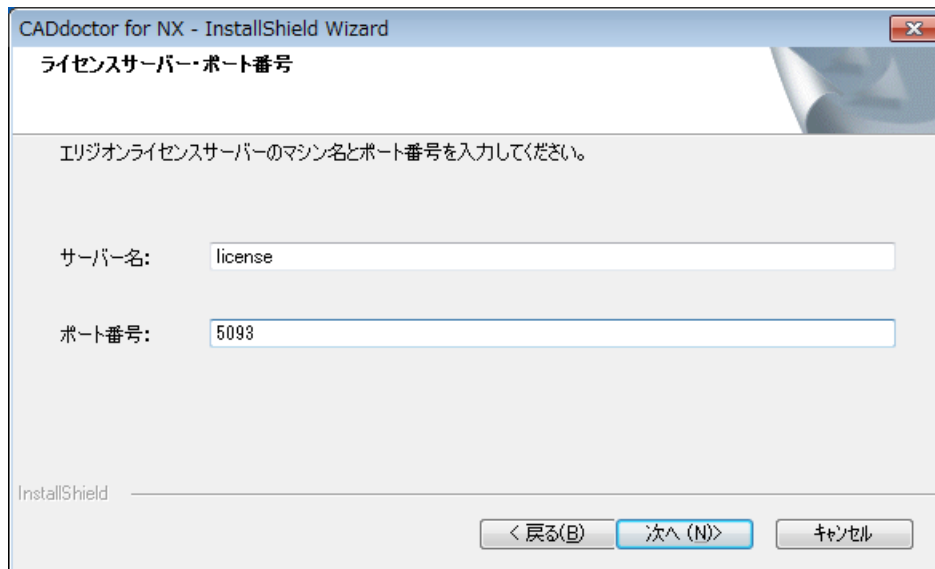
1. Teamcenter などから使用したい NX を起動します。
2. NX のメニューバーから[ヘルプ] - [ログファイル]を実行します。
3. 表示される情報ダイアログにて UGII_CUSTOM_DIRECTORY_FILE に指定されているパスを確認します。

11. 使用言語の選択



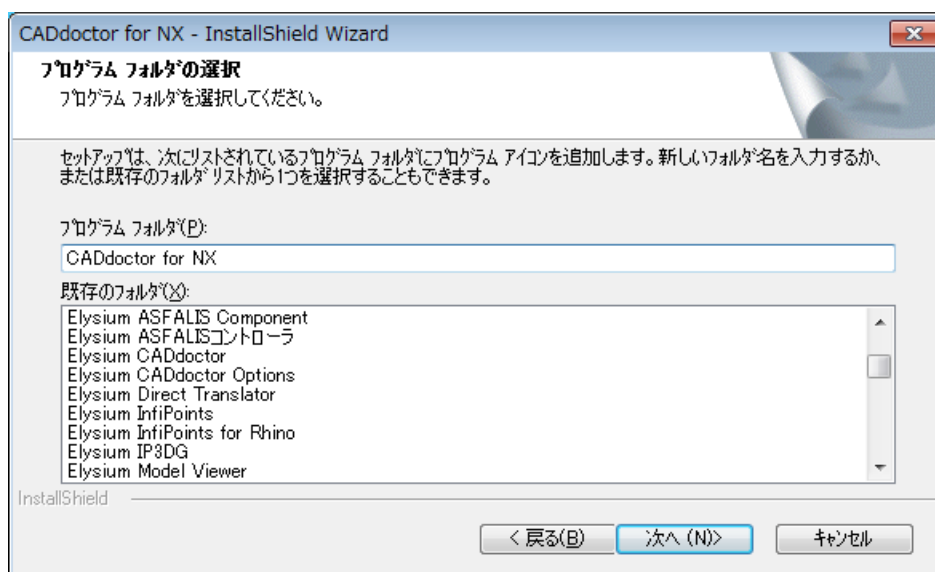
- 使用する言語を指定後、「次へ」を選択します。
 - ※ 「NX 設定(UGII_LANG)で切り替える」を選択した場合、環境変数 UGII_LANG の設定にあわせて CADdoctor for NX の使用言語が切り替わります(UGII_LANG が japanese の場合は日本語に、english の場合は英語に切り替わります)。
 - ※ この設定は、インストール完了後に変更することが出来ます。
変更を行う場合、CADdoctor for NX 導入フォルダにて以下の 2 つのファイルを編集してください。
 - 1) "¥config¥custom_dirs.dat" を開き、ファイル末尾の記述を変更
C:¥Elysium¥CADdoctor_for_NX¥<言語設定>
<言語設定>の箇所に japanese / english / \$UGII_LANG のいずれかを記述します。
 - 2) "¥dll¥language.txt" を開き、記述を変更
japanese / english / UGII_LANG のいずれかを記述します。

12. ライセンスサーバーの選択



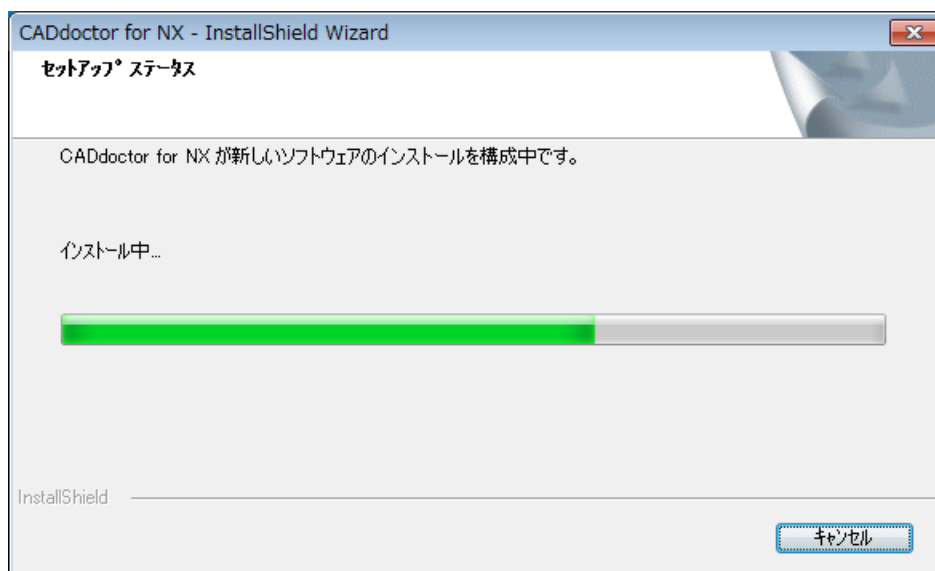
- ライセンスサーバー名とポート番号を指定後、「次へ」を選択します。

13. プログラムフォルダの選択

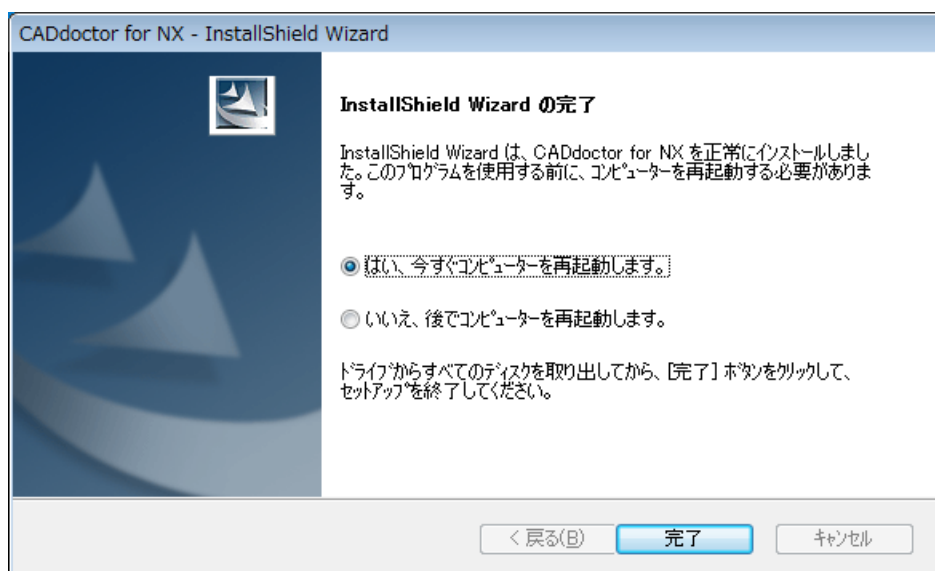


- プログラムフォルダ名を指定後、「次へ」を選択するとインストールが開始されます。

14. インストールの開始



15. インストールの完了



- 「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を指定して「完了」を選択します。コンピュータが再起動されて、インストールが完了します。

2.1.3 インストールが終わったら

スタートメニューから CADdoctor for NX を起動してください。



CADdoctor for NX の使用方法は、オンラインヘルプをご確認ください。オンラインヘルプを起動しても目次(INDEX)が表示されない場合は、JavaScript を有効にしてください。



2.2 コピーインストール

以下の手順に従ってコピーインストールを行ってください。手順は **Computer B** に対してコピーインストールを実行する場合を想定して記載しています。

2.2.1 インストール済みマシンと同じパスにインストールする場合

1. 既に CADdoctor for NX がインストールされた **Computer A** からインストールフォルダ全体（例：C:\Elysium\CADdoctor_for_NX）を **Computer B** の同じパスにコピーします。以降はこのフォルダを<CADdoctor for NX Installation folder> と表記します。
2. 環境変数 ELY_CDRNX_TEMP_DIR を作成し、CADdoctor for NX 使用ユーザが読み書き可能なフォルダを指定します。
例) ELY_CDRNX_TEMP_DIR=C:\Elysium\CADdoctor_for_NX\temp
3. 環境ファイル custom_dirs.dat(*)に CADdoctor for NX のパスを指定します。指定するパスは使用言語により以下の例のように異なります。
 - 英語の場合
 <CADdoctor for NX Installation folder>\english
 - 日本語の場合
 <CADdoctor for NX Installation folder>\japanese
 - NX の環境変数 UGII_LANG に連動させている場合
 <CADdoctor for NX Installation folder>\%\$UGII_LANG

(*)custom_dirs.dat については、**Computer A** の以下の環境変数からファイルパスを確認することができます。

- インストール時に「既存の NX 環境と共存させる(このまま編集)」を選択した場合
→システム環境変数 UGII_CUSTOM_DIRECTORY_FILE
 - インストール時に「既存の NX 環境と共存させない(コピーを作成)」を選択した場合
→<CADdoctor for NX Installation folder>\dll フォルダの StartNX.bat 内に記載されている環境変数 UGII_CUSTOM_DIRECTORY_FILE
4. **Computer A** へのインストール時の条件に合わせて、**Computer B** に環境変数 UGII_CUSTOM_DIRECTORY_FILE を作成し、custom_dirs.dat のファイルパスを指定します。
 - インストール時に「既存の NX 環境と共存させる(このまま編集)」を選択した場合
→システム環境変数 UGII_CUSTOM_DIRECTORY_FILE に指定します
 - インストール時に「既存の NX 環境と共存させない(コピーを作成)」を選択した場合
→<CADdoctor for NX Installation folder>\dll フォルダの StartNX.bat 内に記載されている環境変数 UGII_CUSTOM_DIRECTORY_FILE に指定します

2.2.2 インストール済みマシンとは異なるパスにインストールする場合

1. 既に CADdoctor for NX がインストールされた Computer A からインストールフォルダ全体 (例 : C:\¥Elysium¥CADdoctor_for_NX) を Computer B の別のパスにコピーします。
例) D:\¥Elysium¥CADdoctor_for_NX
以降、このフォルダを<CADdoctor for NX Installation folder #2> と表記します。
2. 環境変数 ELY_CDRNX_TEMP_DIR を設定し、CADdoctor for NX 使用ユーザが読み書き可能なフォルダを指定します。
例) ELY_CDRNX_TEMP_DIR= D:\¥Elysium¥CADdoctor_for_NX¥temp
3. 環境ファイル custom_dirs.dat(*)に CADdoctor for NX のパスを指定します。
指定するパスは使用言語により以下の例のように異なります。
 - 英語の場合
 <CADdoctor for NX Installation folder #2>¥english
 - 日本語の場合 CADdoctor for NX のパスを指定します。
 <CADdoctor for NX Installation folder #2>¥japanese
 - NX の環境変数 UGII_LANG に連動させている場合
 <CADdoctor for NX Installation folder #2>¥\$UGII_LANG

(*)custom_dirs.dat については、Computer A の以下の環境変数からファイルパスを確認することができます。

- インストール時に「既存の NX 環境と共存させる(このまま編集)」を選択した場合
→システム環境変数 UGII_CUSTOM_DIRECTORY_FILE
 - インストール時に「既存の NX 環境と共存させない(コピーを作成)」を選択した場合
→<CADdoctor for NX Installation folder #2>¥dll フォルダの StartNX.bat 内に記載されている環境変数 UGII_CUSTOM_DIRECTORY_FILE
5. Computer A へのインストール時の条件に合わせて、Computer B に環境変数 UGII_CUSTOM_DIRECTORY_FILE を作成し、custom_dirs.dat のファイルパスを指定します。
 - インストール時に「既存の NX 環境と共存させる(このまま編集)」を選択した場合
→システム環境変数 UGII_CUSTOM_DIRECTORY_FILE に指定します
 - インストール時に「既存の NX 環境と共存させない(コピーを作成)」を選択した場合
→<CADdoctor for NX Installation folder #2>¥dll フォルダの StartNX.bat 内に記載されている環境変数 UGII_CUSTOM_DIRECTORY_FILE に指定します
 6. CADdoctor for NX をコピーしたパスに基づいて該当箇所を変更します。
 - 以下 5 ファイルの csv_folder 指定行に記載されている CADdoctor for NX のパス
 ✓ <CADdoctor for NX Installation folder #2>¥<japanese/english/\$UGII_LANG
 のいずれか>¥dfa フォルダ内
 - CADdoctor_for_NX_Checker.dfa
 - CADdoctor_for_NX_Healer.dfa

- CADdoctor_for_NX_Profile.dfa
- CADdoctor_for_NX_Healer_Partial.dfa
- CADdoctor_for_NX_Profile_Partial.dfa

指定例)

(String Parameter) csv_folder: "C:¥Elysium¥CADdoctor_for_NX¥log";
 →(String Parameter) csv_folder: "D:¥Elysium¥CADdoctor_for_NX¥log";

- 以下のファイル nxd_call_dll.dfa の dll 指定行に記載されている CADdoctor for NX のパス
 ✓ <CADdoctor for NX Installation folder #2>¥<japanese/english/\$UGII_LANG
 のいずれか>¥dfa¥nxd_call_dll.dfa

指定例)

String (\$lib; "C:¥Elysium¥CADdoctor_for_NX¥dll¥cdrnx_healer");
 → String (\$lib; "D:¥Elysium¥CADdoctor_for_NX¥dll¥cdrnx_healer");

- 以下のファイル nxdr_tool.utd の dll 指定行に記載されている CADdoctor for NX のパス
 ✓ <CADdoctor for NX Installation folder #2>¥<japanese/english/\$UGII_LANG
 のいずれか>¥startup¥nxdr_tool.utd

指定例)

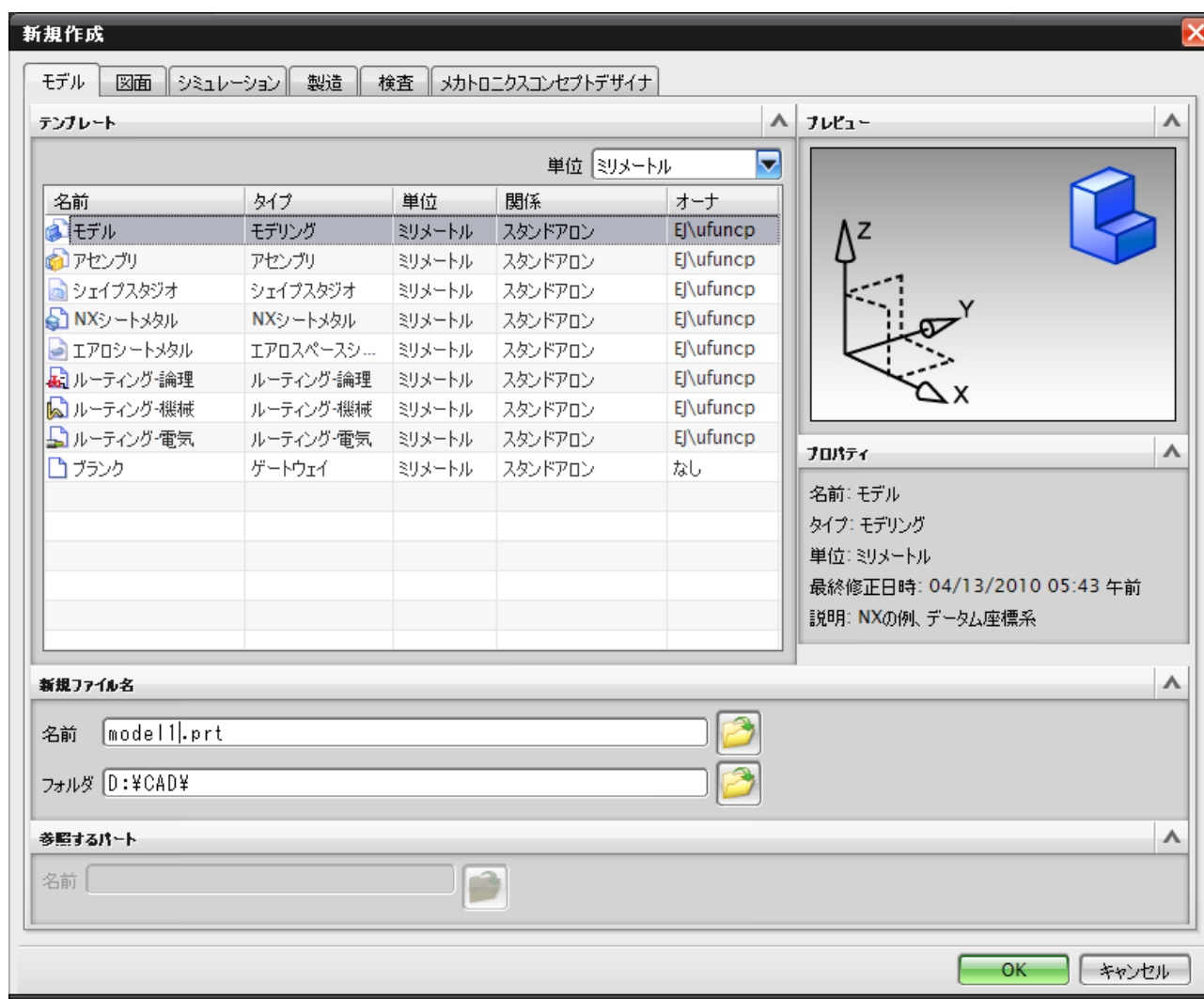
ACTION C:¥Elysium¥CADdoctor_for_NX¥lib¥nxd_ug2hl.dll
 →ACTION D:¥Elysium¥CADdoctor_for_NX¥lib¥nxd_ug2hl.dll

3 テンプレート機能

Elysium 中間ファイルから NX モデルを作成する際に使用できるテンプレート機能について説明します。テンプレート機能を使用するにはテンプレートが予め NX へ登録されている必要があります。

NX メニューの [ファイル]・[新規作成] ダイアログのテンプレート一覧に使用したいテンプレートが存在するかご確認下さい。

- 既に存在する場合は、3.2 (非 Teamcenter 環境) 又は 3.4 (Teamcenter 環境) のテンプレートの指定方法へお進み下さい。
- 存在しない場合は、3.1 (非 Teamcenter 環境) 又は 3.3 (Teamcenter 環境) に従いテンプレートの登録を行って下さい。



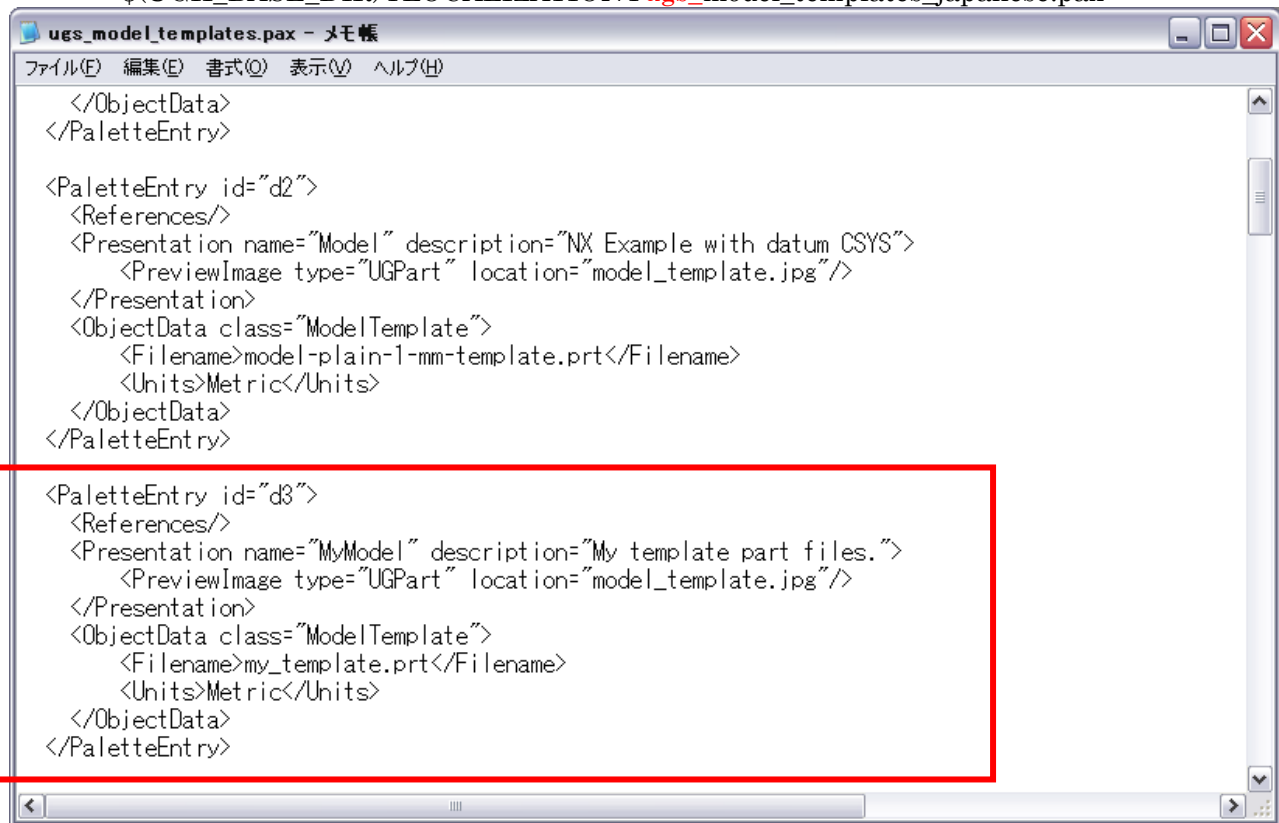
3.1 NXへのテンプレートの登録方法例（非Teamcenter環境）

ここでは非 Teamcenter 環境における NX へのテンプレート登録方法の一例を紹介します。
テンプレートの登録方法のより詳細な情報は NX 本体のマニュアルをご参照下さい。

1. \$(UGII_ROOT_DIR)\templates フォルダ配下に template パートを配置して下さい。
ex) C:\Program Files\UGS\NX 9.0\UGII\templates\my_template.prt
2. \$(UGII_ROOT_DIR)\templates\ugs_model_templates.pax をテキストエディタで開き
<PaletteEntry id="dx">...</PaletteEntry>の部分をコピーアンドペーストで複製し編集して下さい
(下の赤枠の部分が新規追加項目)。

※ NX が日本語設定 (UGII_LANG=japanese) の場合は以下の pax ファイルを編集して下さい。

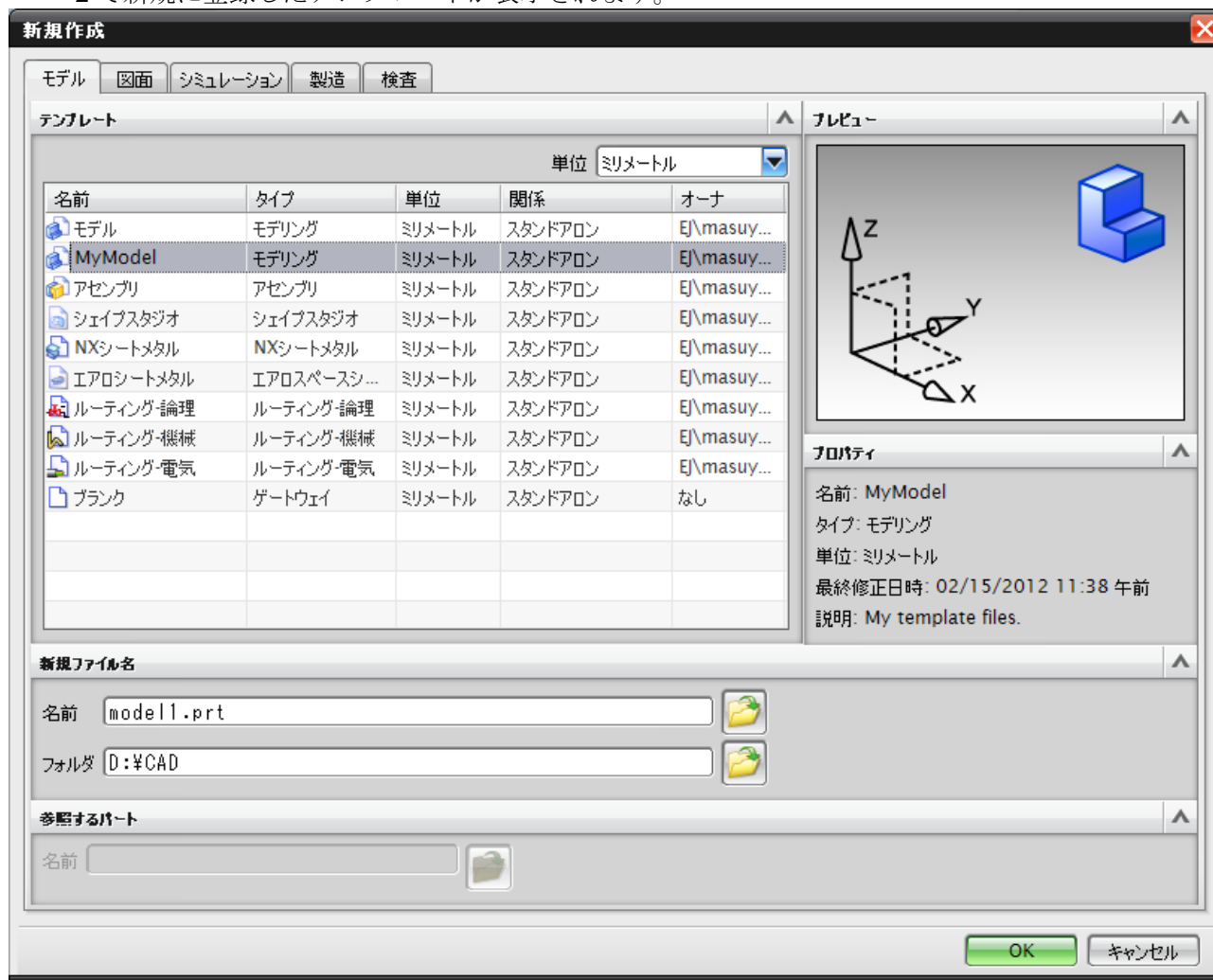
\$(UGII_BASE_DIR)\LOCALIZATION\ugs_model_templates_japanese.pax



pax ファイルの各パラメータ及びその説明

設定項目	説明
PaletteEntry id	Template の ID (必須) 他と重複しないように設定して下さい。
Presentation name	テンプレートの名前 (任意)
Presentation description	テンプレートの簡易説明 (任意)
ObjectData class	テンプレートのアプリケーションタイプ (必須) (指定例) ModelTemplate AssemblyTemplate DrawingTemplate SheetTemplate CaeFemTemplate CaeSimTemplate RoutingLogicalTemplate RoutingElectricalTemplate RoutingMechanicalTemplate NXSheetMetalTemplate AeroSheetMetalTemplate FlexPCDSSheetMetalTemplate StudioTemplate CamTemplate
Filename	テンプレートのパート名 (必須)
Units	テンプレートの単位 (必須) 指定例 (Metric=mm 系か English=Inch 系の 2 択) Metric English

3. テンプレートの登録が完了すると、NX のメニュー [ファイル]・[新規作成] のダイアログに、2 で新規に登録したテンプレートが表示されます。



3.2 テンプレートの指定方法（非Teamcenter環境）

<導入フォルダ>¥ely_plugin.ini にある設定ファイルに記述することで Template パートを指定することが可能です。

例) C:¥Elysium¥CADdoctor_for_NX¥ely_plugin.ini

```
[ENF2UFUNC]
UseTemplateFile=1
TemplatePart=my_template.prt
TemplatePartAppType=ModelTemplate
TemplatePartAppUnit=Metric
TemplateAsm=my_template.prt
TemplateAsmAppType=ModelTemplate
TemplateAsmAppUnit=Metric
```

※ "=" 記号の前後にスペース文字を含まないようご注意ください。=は半角です。

※ テンプレート機能を使用する際には、下記 7 個のパラメータを全て指定して下さい。

各パラメータの説明

パラメータ名	説明
UseTemplateFile	0: テンプレートを使用しない (Blank Template を使用する) 1: テンプレートを使って変換する
TemplatePart	テンプレートパート名 (pax ファイルの FileName)
TemplatePartAppType	テンプレートパートのアプリケーション名 (pax ファイルの ObjectData class)
TemplatePartAppUnit	テンプレートパートの単位系 (pax ファイルの Units)
TemplateAsm	テンプレートアセンブリ名 (pax ファイルの FileName)
TemplateAsmAppType	テンプレートアセンブリのアプリケーション名 (pax ファイルの ObjectData class)
TemplateAsmAppUnit	テンプレートパートの単位系 (pax ファイルの Units)

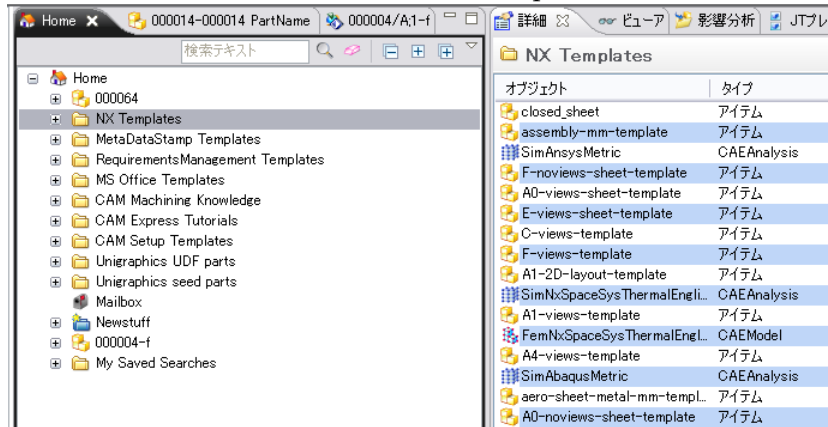
3.3 NXへのテンプレートの登録方法例 (Teamcenter環境)

ここでは Teamcenter 環境における NX へのテンプレート登録方法の例を 3 例紹介します。テンプレートの登録に関するより詳細な情報は NX 本体のマニュアルをご参照下さい。

Teamcenter へ既にテンプレートを登録済の場合は 3.4.4. テンプレートの指定方法 へお進み下さい。

A) Teamcenter に登録済のパートをテンプレートとして使う

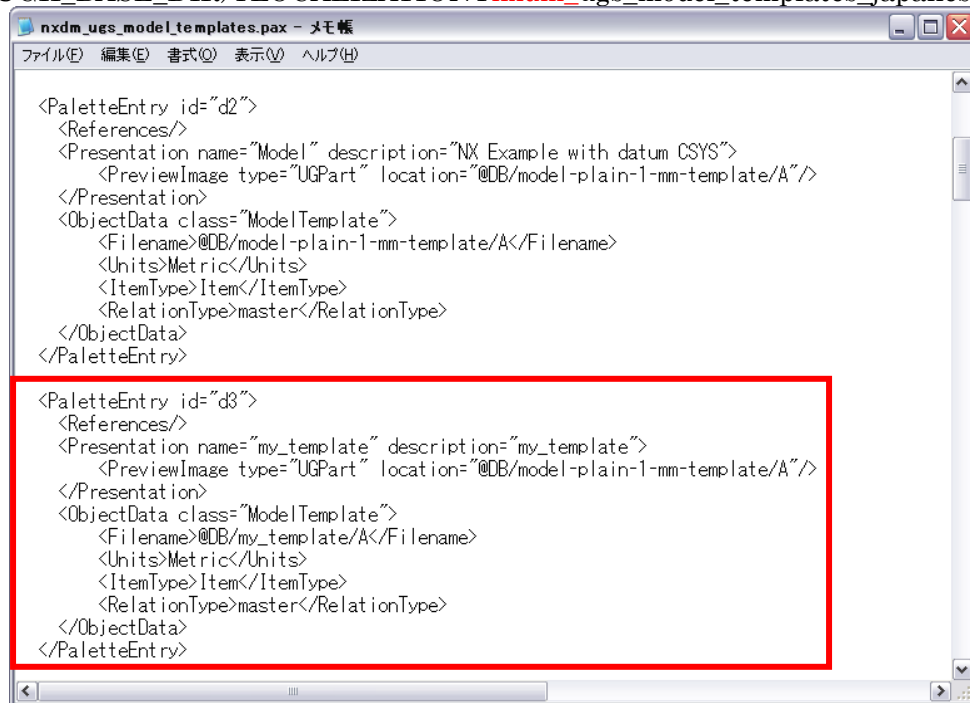
1. テンプレートとして使用したいアイテムを"NX Templates" フォルダに配置して下さい。



2. \$(UGII_ROOT_DIR)\templates\nx\dm_ugs_model_templates.pax をテキストエディタで開き<PaletteEntry id="dx">...</PaletteEntry>の部分をコピーアンドペーストで複製し編集して下さい(下の赤枠の部分が新規追加項目)。

※ NX が日本語設定 (UGII_LANG=japanese) の場合は以下の pax ファイルを編集して下さい。

\$(UGII_BASE_DIR)\LOCALIZATION\nx\dm_ugs_model_templates_japanese.pax

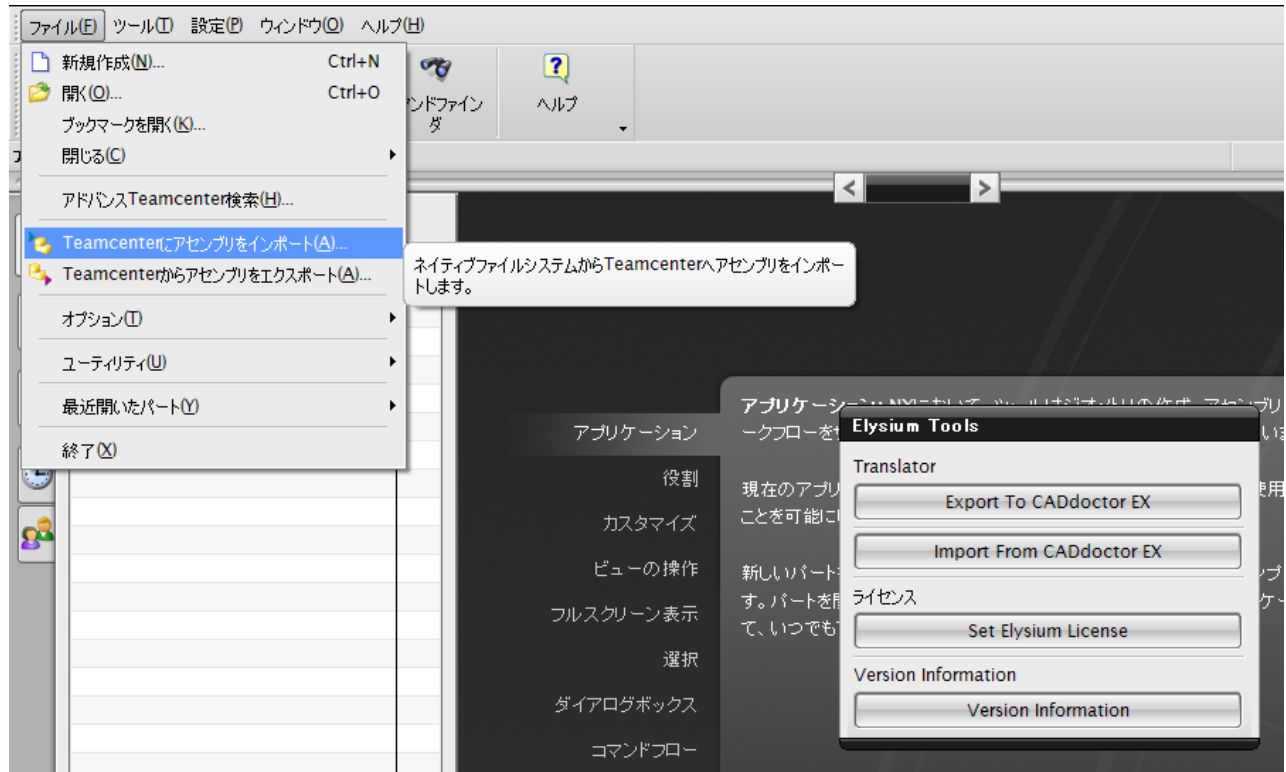


pax ファイルの各パラメータ及びその説明

設定項目	説明
PaletteEntry id	Template の ID。(必須) 他と重複しないように設定して下さい。
Presentation name	テンプレートの名前 (任意)
Presentation description	テンプレートの簡易説明 (任意)
ObjectData class	テンプレートのアプリケーションタイプ (指定例) ModelTemplate AssemblyTemplate DrawingTemplate SheetTemplate CaeFemTemplate CaeSimTemplate RoutingLogicalTemplate RoutingElectricalTemplate RoutingMechanicalTemplate NXSheetMetalTemplate AeroSheetMetalTemplate FlexPCDSSheetMetalTemplate StudioTemplate CamTemplate
Filename	テンプレートの名前 (必須) @DB/<パート名>/<リビジョン名>
Units	テンプレートの単位 (必須) 指定例 (Metric=mm 系か English=Inch 系の 2 択) Metric English

B) .prt ファイル形式のパートファイルを Teamcenter に登録しテンプレートとして使う

1. NX メニューの [ファイル] - [Teamcenter にアセンブリをインポート] より、.prt ファイル形式のパートファイルを Teamcenter へ登録し、A-1 項と同様に "NX Templates" フォルダ内に配置して下さい。



2. 17 ページの A-2 項と同様、pax ファイルにテンプレートを追記して下さい。

C) Teamcenter ヘ TEMPLATE を一括登録する (Teamcenter に TEMPLATE が未登録の場合)

1. \$(UGII_ROOT_DIR)\templates フォルダ配下に template パートを配置して下さい。

ex) C:\Program Files\UGS\NX 9.0\UGII\templates\my_template.prt

2. A-2 項と同様、pax ファイルにテンプレートを追記して下さい。

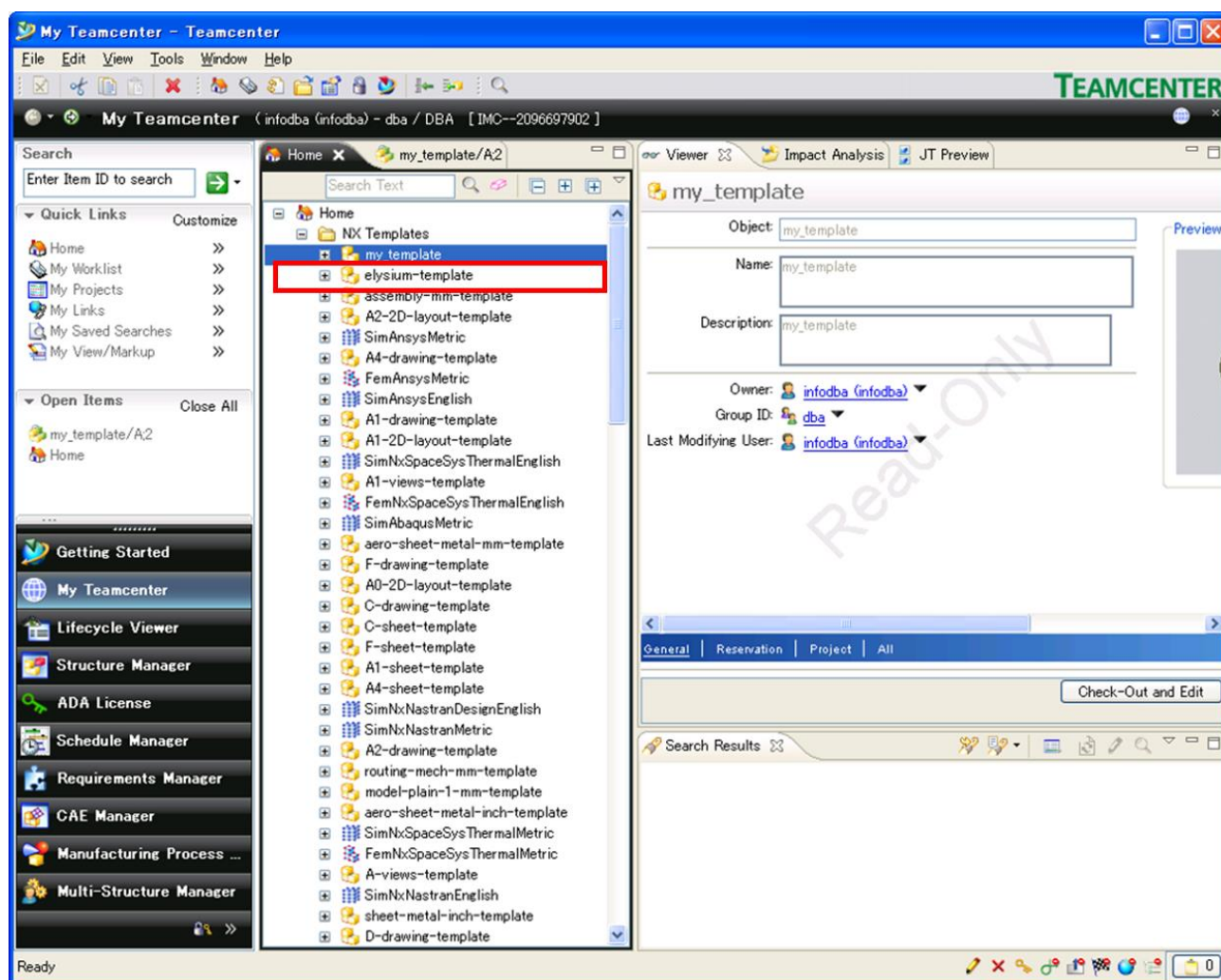
3. [スタートメニュー] - [Teamcenter] - [tc_TCDB Command Prompt] から Teamcenter を起動して下さい。

4. 以下のコマンドを実行して下さい。

```
"%UGII_ROOT_DIR%\templates\sample\tcin_template_setup"
```

```
-u=<username> -p=<password>
```

5. テンプレートの登録に成功すると、Teamcenter の NX Templates フォルダに新規に登録したテンプレートが表示されます。



3.4 テンプレートの指定方法 (Teamcenter環境)

<導入フォルダ>¥ely_plugin.ini にある設定ファイルに記述することで Template パートを指定することが可能です。

例) C:¥Elysium¥CADdoctor_for_NX¥ely_plugin.ini

```
[ENF2UFUNC]
UseTemplateFile=1
TemplatePart=@DB/my_template/A
TemplateAsm=@DB/my_template/A
```

※ "=" 記号の前後にスペース文字を含まないようご注意ください。=は半角です。

※ テンプレート機能を使用する際には、下記 3 個のパラメータを全て指定して下さい。

各パラメータの説明

パラメータ名	説明
UseTemplateFile	0: テンプレートを使用しない (Blank Template を使用する) 1: テンプレートを使って変換する
TemplatePart	テンプレートパートの名前 (pax ファイルの FileName)
TemplateAsm	テンプレートアセンブリの名前 (pax ファイルの FileName)

3.5 テンプレート機能に関する留意点

1. テンプレート機能を使うには予め NX にテンプレートが登録されている必要があります。NX への

テンプレートパートの登録方法は 3.1 及び 3.3 をご覧下さい。

(※詳細は NX のシステム管理者又は NX 本体のマニュアルをご確認下さい)

2. Import From Elysium Neutral File(ENF) 実行前にはトップアセンブリに相当する空の部品を NX 上で新規作成して頂く必要があります。この部品に対しては指定したテンプレートは適用されず、新規作成時に選択したテンプレートが使われます。

3.6 Part Revision の指定方法 (Teamcenter環境)

以下のパラメータを追記することで、新規 Part 作成時の Revision を指定することが可能です。
パラメータを指定しない場合、リビジョンは"AA"固定となります。

Import From Elysium Neutral File(ENF) 実行前にはトップアセンブリに相当する空の部品を NX 上で新規作成して頂く必要があります。この部品に対しては指定したパートリビジョンは適用されず、新規作成時に選択したリビジョンが使われます。

[ENF2UFUNC]

PartRevision=A

※ "=" 記号の前後にスペース文字を含まないようにご注意ください。=は半角です。

3.7 Part (Item) Type の指定方法 (Teamcenter環境)

以下のパラメータを追記することで、新規 Part 作成時のパート(アイテム)タイプを指定することが可能です。パラメータを指定しない場合、パートタイプは Teamcenter のデフォルト設定の値となります。

Import From Elysium Neutral File(ENF) 実行前にはトップアセンブリに相当する空の部品を NX 上で新規作成して頂く必要があります。この部品に対しては指定したパートタイプは適用されず、新規作成時に選択したパートタイプが使われます。

[ENF2UFUNC]

PartType=CAD

※ "=" 記号の前後にスペース文字を含まないようにご注意ください。=は半角です。

4 カスタマイズ設定

該当するパラメータを追記することで、下記の機能を使用することが可能です。

4.1 単独線を修正する

デフォルトの設定では、単独線は自動修正の対象ではありません。

<導入フォルダ>%settings%\ely_plugin.ini にある設定ファイルの SkipIsolatedCurve の値を編集することで、自動修正の対象とすることが可能です。

```
[UFUNC2ENF]
```

```
SkipIsolatedCurve=0
```

※ "=" 記号の前後にスペース文字を含まないようご注意ください。=は半角です。

4.2 DB_PART_NAME, DB_PART_NOをENFに出力する

<導入フォルダ>%ely_plugin.ini にある設定ファイルに記述することで

DB_PART_NAME, DB_PART_NO をそれぞれシステム属性の PartName, Name として変換することが可能です。PartNameRule=3 の場合、DB_PART_NO がシステム属性の Name として変換され、NX のパートファイル名は変換されません。

```
[UFUNC2ENF]
```

```
ConvertPartName=1
```

```
PartNameRule=3
```

※ "=" 記号の前後にスペース文字を含まないようご注意ください。=は半角です。